

『日本銀行の機能と業務』の刊行にあたって

日本銀行金融研究所では、わが国の中央銀行である日本銀行の機能と業務に関する解説書として、2000年に本書の前身である「新しい日本銀行：その機能と業務」を、2004年にはその増補版を、刊行しました。しかし、その後の金融経済面での環境変化には非常に大きなものがあり、この度、前著を全面改訂し、「日本銀行の機能と業務」として新たに編集・刊行する運びとなりました。

本書は、できるだけ幅広い多くの方々に日本銀行について理解していただきたい、という願いから、日本銀行の機能と業務に関する解説を試みていることは、前著と同様です。大学で金融論を学ぶ学生の皆さん、金融経済に関心のあるビジネスパーソン、日本銀行に興味をお持ちの幅広い方々に、日本銀行の実像を知るための手がかりとしていただければ幸いです。

日本銀行は、物価の安定と金融システムの安定を目的とした組織ですが、そうした目的は、日本銀行の日々の業務を通じて達成されるものです。このため、日本銀行の機能と業務を理解するために、日本銀行が実際に行っている業務の解説に焦点を当てている点は、前著から不変です。他方、前著からの大きな変化点として、金融政策運営の枠組みや、日本銀行の最高意思決定機関である政策委員会についての説明を拡充しています。また、この10年間の各種決済システムの進展を踏まえ、日本銀行券の発行・流通・管理や国庫・国債業務を含め、わが国の決済システムに関する最新の記述に努めています。さらに、金融経済環境の変化を受けて、国際的な協力・協調に向けた日本銀行の新たな取り組みとともに、日本銀行が新たに導入したオペレーションや、金融システムの健全性確保に向けた日本銀行の施策等についても、幅広く説明しています。

本書の執筆作業は、米谷達哉（現広島支店長）、越智信仁、久田洋平、羽瀨貴秀を編集会議事務局として、金融研究所の吉田知生、小高咲、鎮目雅人のサポートや、関係局室の多大な協力を得ながら進めてきました。

できるだけ多くの人々に日本銀行の実像を理解していただくためには、極力平明な記述で、正確かつ客観的に、また先入観なく体系的に整理・記述した解説を行う必要があります。しかし、金融研究所および各局室スタッフだけでそうした条件を満たすのは容易ではありません。そのため、本書の作成にあたって、上記のコアメンバーがまずたたき台の原稿を作成し、それを日本銀行内

外の有識者からなる「編集委員」と金融研究所スタッフによる編集会議（計8回開催）で徹底的に議論して、抜本的に書き直していく、という前著からの方式を踏襲しました。

編集会議の間では、記述内容の適切さ、理論的な妥当性、各章横断的な整合性や用語の用い方まで含めて、熱心な討議が行われました。たたき台の原稿を何度も精読し、率直に様々な意見・提案をしていただいた編集委員のご尽力がなければ、本書は生まれませんでした。ここにその名を記して心からお礼申し上げます（五十音順）。

日本銀行理事	雨宮正佳（第6回～第8回）
東京大学大学院教授	植田和男
日本銀行審議委員	須田美矢子
日本銀行理事	中曾宏（第1回～第5回）
日本銀行副総裁	西村清彦
日本銀行審議委員	野田忠男
東京大学大学院教授	福田慎一

金融研究所のコアメンバーは、編集委員からのご意見、ご指摘を踏まえつつ、正確さと分かりやすさのバランスの取り方などにも精一杯対応してきましたが、本書の記述に課題が残るとすれば、その責任は、具体的な執筆を担った私どもコアメンバーにあります。

最後になりますが、本書が、皆さまにとって、日本銀行についての理解の一助になることを願っています。本書を一読された後、日本銀行の業務内容に関心をもたれて、さらに理解を深めたい皆さまには、日本銀行ホームページ（<http://www.boj.or.jp>）をご覧になることをお勧めします。本書の本文や巻末の参考文献で紹介したレポートなど、さらに詳細なコンテンツを提供しています。

平成23年1月

日本銀行金融研究所長

高橋 亘